

第9期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

課室名	かがやく長寿課
担当者名	田中 敦之

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第9期介護保険事業計画に記載の内容				R6年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第9期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
美浜町	①自立支援・介護予防・重度化防止	●高齢者が生涯、健康でいきいきと過ごすためには、生活習慣の改善が重要であり、適度な運動、バランスの取れた食事、社会参加、定期的な健康チェックなどに留意する必要があります。そのための意識啓発や取り組みやすい環境づくりが必要です。	地域における住民主体の介護予防や地域活動の育成や支援を実施	①介護予防講演会・相談会の開催回数・参加者数 R6 40回 500人 R7 40回 500人 R8 40回 500人 ②介護予防教室等の開催回数・参加者数 R6 1,000回 11,000人 R7 1,000回 11,000人 R8 1,000回 11,000人	①介護予防講演会・相談会の開催回数・参加者数 R6 32回 363人 ②介護予防教室等の開催回数・参加者数 R6 985回 12,371人	○	新型コロナウイルス感染症等の影響を受けて参加者の減少がみられていたが、徐々に戻ってきている。ただし、参加者の高齢化が課題となっている。一般介護予防事業の更なる普及啓発を目指し、若い世代の新規参加者の獲得を目指す。また、介護予防や生活支援の担い手育成を図り、自助・互助の強化を推進する。
美浜町	①自立支援・介護予防・重度化防止	●また、介護予防を進めるにあたっては、高齢者の心身の状態が自立、フレイル、要支援、要介護と変わってくるため、連続的に捉え支援するという考えに立って行われることも重要です。	介護予防や地域活動を通じて自助・互助の意識を高め、地域づくりを推進していくためにボランティア等の人材育成を実施	介護予防に関するボランティア等の育成研修開催回数・参加者数 R6 1回 100人 R7 1回 100人 R8 1回 100人	介護予防に関するボランティア等の育成研修開催回数・参加者数 R6 1回 37人	○	今後も介護予防意識の向上を図るとともに、参加者の資質向上及びネットワークの強化を目的に内容の充実を図っていく。
美浜町	②給付適正化	●今後も高齢者の増加に伴う要介護認定申請件数の増加が見込まれることなどから、要介護認定制度における業務の簡素化等も踏まえながら、引き続き、要介護認定を遅滞なく適正に実施するために必要な体制を計画的に整備していくことが重要です。	縦覧点検・医療情報との突合	縦覧点検・医療情報との突合回数 R6 12回 R7 12回 R8 12回	縦覧点検・医療情報との突合回数 R6 12回	○	和歌山県国民健康保険団体連合会から送付される帳票について、全数確認を行うのは専門的な知識や膨大な時間が必要となるため、必要性の高い帳票から確認を実施していく。
美浜町	②給付適正化		ケアプラン点検	ケアプラン点検 実施事業所数 R6 5事業所 R7 5事業所 R8 5事業所	ケアプラン点検 実施事業所数 R6 4事業所	○	点検者の知識向上・スキルアップが必要なため、引き続き背局的に研修会に参加して知識向上等に努める。
美浜町	②給付適正化		住宅改修等の点検	住宅改修等の点検件数 R6 2件 R7 2件 R8 2件	住宅改修等の点検件数 R6 0件	△	住宅改修等の点検に関しては書類でのチェックを基本としており、疑義が生じた時のみ現地確認を実施する。R6年度に関しては現地確認が必要なケースがなかった。
美浜町	②給付適正化		自立支援型地域ケア会議の開催	自立支援型地域ケア会議回数 R6 6回 R7 6回 R8 6回	自立支援型地域ケア会議回数 R6 3回	△	ケースを選定して約半年間モニタリングを続ける方法を採用し、利用者の自立支援・重度化防止に資する自立支援型ケアマネジメントが推進されるよう取り組んだ。今後も同様の方式で自立支援型ケアマネジメントの推進を図る。
美浜町	②給付適正化		認定調査の直営	認定調査の直営率 R6 95.0% R7 95.0% R8 95.0%	認定調査の直営率 R6 98.9%	◎	原則職員が認定調査を実施している。県外の施設入所者等のみ、施設近隣の居宅介護支援事業者に委託している。